

電
脳

ち
ゃ
ん
ね
る

今日もパソコンの電源をつける。

19インチのモニターが起動画面を映し音を立ててOSを立ち上げるのを確認してイスに座る。
操作ができるようになるまでは2分くらいか？

時間を計ったことはないから正確なことはわからないが大体それくらいだ。

いつもこのOSを立ち上げて操作ができるようになるまでの時間が退屈で酷く長く感じている。
パソコンをしている時はなんてことない時間なのに
それを始めるまでのこの間といったら時間が濃縮されているかのように長い。

インターネットが発達して何年経つかわからないけれど
今やネットは人々の生活と切り離せない存在になっている。
ニュースなどのさまざまな情報を得るだけでなく
料理のレシピから好きな歌手の情報までなんでも調べることができる。
ネットを使って調べられないことなどないと言っても過言ではないだろう。

それに買い物もできる。
一昔前まではコンビニが便利だとかテレビの通販が便利だとか言っていたが
そんなものはネットの通販に比べれば大した存在ではない。
店と違って出かける必要も持って帰る面倒さもないし
値段は数あるネット店舗の中から比較することができて
支払いをカードで済ませたら家に届くのを待つだけで商品を手に入れることができる。

送料だって全商品無料のところが多いし注文した翌日に届くことも珍しくない。
通販以外にもネットオークションというものができて個人レベルで気軽に売買ができるようにもなった。
これを使えば自分の持っているモノをお金に換えることもできるし
逆に欲しいモノを人から買うこともできる。

オークションなので値段は変化するが
自分が売りに出したモノが思ったより高く売れたり
欲しいモノが安く手に入ったりするので人気のコンテンツだ。

もっとも、誰でも気軽にオークションに参加できるようになった為に
限定品などをオークションで売る為だけに買い占め転売する
転売屋なんてもうのまで出てきたのでいいことしかないというわけでもないが・・・

それから掲示板と呼ばれるものを使って自分の意見を発信することもできるし

逆に他の人の意見を受信することも可能だ。

これを使えばありとあらゆる人と話しをすることができるので情報の交換に役立っている。

掲示板がない時はどんな商品でも買う前は宣伝文句を信じるか

せいぜい口コミくらいしか情報を集める手段がなかったが

掲示板というものが発達してからは

ありとあらゆる情報を双方向で伝達することができるようになり

得られる情報量が格段に多くなった。

テレビや新聞、雑誌なんてものは

CMや広告を出してくれるスポンサーからお金を貰って経営しているので

余程のことがない限りスポンサー関連のものを悪く言ったりはしない。

その為、良いところばかり強調して悪いところは不自然なほどに隠す。

しかし掲示板ができてからは実際に商品を使った人が気軽に感想を書き込めるようになった為
本当はどんな商品なのか？

なんてことが誰にでも気軽にわかるようになった。

もちろん誰にでも書き込めるということは

企業が宣伝をする為に書き込むこともできるので

あまりに不自然な書き込みは宣伝またはライバル企業の工作活動であると認定されることもある
。

実際にそういう工作を請け負う会社も存在し

アルバイトを募集していたりするのでそういうところから情報が漏れることもある。

そのような情報にネットユーザーは敏感なので

ネットの情報だけを鵜呑みにして得意げに語っていると

「ソース(情報源)は？」

と聞かれることがある。

ネットの書き込みだけがソースだと信憑性が低いので信じてもらえず

自分が工作員であると疑われるなんてことも珍しくない。

ネットの情報は話半分で参考程度にしておくというのがヘビーユーザーのスタンスだ。

そのような情報交換以外ではただの雑談や暇つぶしに利用されることも多く

大手の掲示板サイトはいつもたくさんの話題と人で賑わっている。

そんな数ある掲示板の中でも最近よく使うのが電腦ちゃんねるという電子掲示板サイトだ。
いくつかのジャンルに分けられていて
その中にスレッドという特定のテーマについて話し合う場所があり
見ることもできるしもちろん書き込みをすることもできる。

このスレッドというのは誰でも作ることができるので
話したいことがある人は自分でスレッドを作って話しをしている。
スレッドはスレと略されることが多くスレッドを作ることをスレを立てるとも言う。
スレッド内には多くの人が書き込んでいるので
自分の書き込みにレス(返信)があったりもするし逆に人の書き込みにレスをすることもある。

電腦ちゃんねるはいろいろなテーマがあり
昨日は泣ける話しや笑える話しのスレッドを見ていたので今日も見ようとしたが
あまり新規の書き込みがないのでフリートークのジャンルにあるスレッドを見ることにする。

ここはフリーと呼ばれる少し特殊な場所でなんでもありの電腦ちゃんねるの中でも掃き溜めと呼ばれる場所だ。

ここに入り浸っている人をネットスラングでフリッパーと呼ぶ。
ネットスラングとはネットで作られた言葉や言い回しのことで
ネット内では通じるがリアルで使うことはほとんどない。
初見では何を話しているかわかりづらが見ているうちになんともなくわかるようになる。
どうしてもわからない場合は検索すれば解説しているサイトなどが見つかるのでそこで意味を調べる。

現在立っているスレッドを見ると

「おすすめの映画教えろください」

「医療ミスした医者だけど質問ある？」

「もう4月か」

「クッキー焼いた！」

「ニートだけど家を追い出されそう・・・」

などスレタイ(スレッドのタイトル)はテーマから何からバラバラでまさにフリーな場所であると感じる。

マウスを動かし何かおもしろそうなスレッドはないかと探すと一つのスレッドが目に入った。

「どれが正解だと思う？」

軽い気持ちでそのスレッドを開き書き込みに目を通す。

書き込みのレス番1にはこう書かれていた。

「自分の命より相手の命の方が大事で
そのことをお互いにわかり愛し合っている夫婦がいて
どちらかが死ななければ二人とも死んでしまうという状況にある。
どうするのが正解だと思う？」

なかなか興味を引く内容だがスレッドが立てられてからしばらく経っているので既にいろいろな意見がでている。

「女を生かすのが男として当然」

「命は平等だから男も女も関係ない」

という意見から

「そんな状況ねーよ」

「いいから働け」

「どうでもいいから部屋から出てこいニート」

なんて煽りの書き込みまである。

フリッパーはとりあえず煽る。

初めて見る人は驚くかもしれないがフリーではこれが普通だ。

電腦ちゃんねる自体

こういう煽りや否定的なレスが他の掲示板サイトに比べてかなり多いのだが
フリーはどんなスレッドでも必ずと言っていい程煽りや否定的な意見が書き込まれる。

俗にいう荒らしというやつだ。

フリッパーの多くがこの荒らしの特性を持っているので
余程すごいものか突っ込みどころがないものでない限り
否定されたり煽られたりは挨拶代わりにおこなわれる。

もちろん真面目な意見もたくさん出るし
スレッドの大半が絶賛や肯定的なもので埋まることもあるが
それは滅多にお目にかかれない。

そしてそんな殺伐とした雰囲気でもなんだかんだでフリーはいつも賑わっている。

読んでいくとこのスレッドにも

「自分で自分を殺して相手を生かすのがどう考えても一番正しい。
そうすれば相手の命を助けられるし相手に自分を殺させることもない」

といった真面目な書き込みもある。

これには

「きれい事言ってるじゃねーぞクズ」

「本当は自分の命の方が大事だからそんなことできる奴はいない」

「いいからお前が死ね」

なんてレスがついているが
この書き込みを見るとこれが一番正しい答えなのでは？
と思ってしまった。

どちらかが死ななければ二人とも死んでしまう。

二人とも死んでしまえば何も残らないから二人とも死ぬというのは正解ではない。

かといって相手を殺すなどもってのほかだし
どうせ自分が死ぬのなら相手に殺させるより自分で死んだ方が
相手に罪の意識を植え付けることもなくダメージが少ないと考えたからだ。

しかし全く別の意見が書き込まれているのを目にする。

「自分で自分を殺しちゃったら
相手の一番大事な人を殺すのと同じだから相手を殺すのが正解じゃない？」

というものである。

一瞬
「は？」
と思ってしまうような内容だがよくよく考えるとなるほどと思わせる意見だ。

この夫婦の場合は自分の命より相手の命の方が大事で
それをお互いにわかっているのだから
自分で自分を殺すというのは一般的な常識に照らし合わせれば
自分が助かる為に相手を躊躇なく殺すのと同じ意味を持つのだ。

人間というのは一般的に自分の命を最も価値のあるものと認識しているが
他の人間の命の方が大事だと考える人間がいないわけではない。

そういう人間にとっては自分が死ぬことよりも
自分の大事な人間が死ぬことの方が苦痛で耐え難い。

お互いにそんな考えを持つ人間が二人いて
どちらかが死ななければ二人とも助からないという状況にあるとしたら
自分を殺す方はそれにより自分の命よりも大切な人の命を守れるので
一番楽な選択をしていると言えないこともない。

考えれば考えるほど複雑な問題であるように思えてくる。

これに正解は本当にあるのか？
と思わせるような問題だ。

そもそも正解というのが何を指すのかさえはっきりと定義されていない。

フリーでフリッパーが適当に考えた質問だろうから
正解なんて本当はないのかもしれないが

自分よりも相手の為になることが正解だと定義してしばらく考えてみることにする。

考えられる選択肢は大きく分けて5つだ。

自分で自分を殺す。

自分が相手を殺す。

相手に殺してもらう。

相手に自殺してもらう。

そして二人とも死ぬという選択肢だ。

まず自分で自分を殺す場合についてもう一度考えてみる。

フリッパーの言うように愛する人の命を助けられて相手に自分を殺させることがないというメリットがある。

後者の相手に自分を殺させることがないというのは相手の為になるプラス要素だと言ってもいい。

しかし前者の愛する人の命を助けられるというのは

自分だけのプラス要素で相手にしてみればマイナス要素にしかない。

相手からすれば愛する人が自分のせいで死ぬという結果になるからだ。

自分が逆の立場だと考えるとわかりやすい。

自分の大切な人が自分の命を助ける為に自ら死んでしまう。

これを喜べるかどうか？

という疑問だ。

もし見知らぬ他人であれば感謝して多少の喜びもあるかもしれないが犠牲になるのは自分の命より大事な人。

自分が死んだ方がマシだと考えるのが自然だ。

つまり大切な人の為に自分が死ぬという究極の自己犠牲に見える行動が

自分が助かる為に相手を殺し自分が生き残るかのような自分本位な行動になる。

映画か何かなら感動のラストシーンにでもなるのだろうが

二人とも相手の方が大事でそれをお互いにわかっているという設定だと相手に精神的なダメージを与える選択は正しいとはいづらい。

次に自分が相手を殺すことについてももう一度考えてみる。
普通の感覚で考えれば自分が助かる為に相手を殺すなんて行為は自己中心的で悪質なものとなる。

しかしこのケースでは少し事情が違う。
自分にとって命より大切な人を殺し自分が生き残るとするのはマイナス要素となる。

そして相手からすれば自分の命を使い愛する人を助けられるプラス要素だと言える。

次に相手に殺してもらうケースだがこれは自分が相手を殺す場合の反対を考えればいいだろう。

相手はこちらを殺すことにより重いマイナス要素を負い
自分としては命を使い愛する人を助けられるというプラス要素を得る。

そして相手に死んでもらうことについてだが
これも先述の自分で自分を殺す場合の反対を考えればわかりやすい。

こちらは愛する人を自分のせいで失うというマイナス要素を負い
相手は愛する人を助けられるというプラス要素を得る。

最後に二人とも死ぬケースについて考える。

この場合のデメリットはなんと言っても生き残る人数が0人になってしまうこと。

どちらかに決めさえすれば必ず一人は生き残れるのに
それをしないというのは損をしていると考えるのが普通だ。

しかしこの方法を取れば二人を平等にすることだけはできる。

例えば自殺の場合
死ぬ方は愛する人を助けてプラス要素を得るが
相手は愛する人に死なれてしまうマイナス要素を負う。

どちらかがどちらかを殺す場合でも

相手を殺しマイナス要素を負う方がいれば
それにより相手を救いプラス要素を得る方もいる。
そういった不平等がなくなるのがこの選択肢だ。

5つの選択肢全てを考察してみたがどれも正しいとは断言しづらい。
どの選択肢にもマイナスな面とプラスの面があり判断が難しい。
とりあえず多少長くはなるが今考えたことをスレッドに書き込む。

すぐにレスが付くが

「長い三行」

「つまんね」

「まずまで読んだ」

「ん？どこを縦読み」

という煽りが大半だ。

少し長いので真面目なレスが付くのは結構先のことだろうと考えしばらく煽りのレスを眺める。

フリッパーというのは多彩な煽り文句を持っているので
煽りに耐性がない人間は顔を真っ赤にして反論してしまいがちだが
そんなことをすればたちまちピラニアのように群がってきて更に煽られる。
フリーとはそういう場所だと割り切らないとまともに話すことさえできない。

たまに初心者と思われる投稿者が低レベルな煽りにまじめにレスをして
たくさんのフリッパーに袋叩きにされているのを目にする。

傍から見ていると微笑ましい光景なのだが
自分がされるとそういうところだとわかってはいても結構イラッとするものだ。

もっともフリー歴の長いフリッパーの中には
そういった煽りに完全に耐性をつけて動じなくなったツワモノも数多くいるようだが
自分はまだそこまでの耐性はないのでただただ我慢するしかない。

そんなことを考えていると真面目なレスも増えてきた。

フリッパーの意見は大きく分けると3つに分類できる。

一つは相手の負担を少なくする方法が正解だとする派。

もう一つは自分の負担を少なくする方法が正解だとする派。

そして二人とも死ぬのが正解だとする派。

相手の負担を少なくする派は
自分の負担は多くてもいいが
相手の負担は少なくするのが正解だという意見。

自分の負担を少なくする派は
自分が相手の負担を少なくしたいと思うなら
相手も同じように思っているからそれを譲る方が正しいという意見。

二人とも死ぬのが正解派は
何を選んでも不平等になるから二人とも死ぬのが正しいという主張だ。

また負担の多さに関しても意見が分かれている。

自分で自分を殺すケースで
「死ぬのだから自分に最も負担が掛かっている」
と考える人もいるが

それに対して

「死ぬことで自分よりも大事な人を助けられるのだから相手よりは軽い」

「相手からすれば自分の命より大事な人が自分の為に死ぬんだから相手の方が負担が多い」

なんて反対意見が出てくる。

しかしまたそれに対し

「相手に愛する人を失う悲しみを背負わせるというのはそれを背負うことよりもつらいのでは？」

「普通の人だったらどう考えても自分の命を犠牲にする方が負担が重いよね。
でもそうならないのはお互いに相手の方が大事だって前提があるから。
つまり、相手の負担が多くなればそれは自分の負担が多くなるよりつらいということ。
で、自分で自分を殺す場合に相手の方が辛いって定義なら
結局自分の方が負担が重いってことになるんじゃない？」

とさらに反対意見が出てくる。

要するに夫が自殺して妻を助けた時に妻の方が負担が多いとするなら
自分よりも大事な妻に負担を多く負わせている夫の方が辛いのでは？
という意見だ。

しかしこれにはまた同質の疑問が出てくる。

夫の方が負担が多いとするならそれをさせてしまっている妻の方がやはり負担が大きいのでは？
という疑問だ。

この考えは表と裏が繋がっているメビウスの輪のようなジレンマで
どちらの負担が重いと定義してもそれが入れ替わるだけなので無限ループになってしまう。

どの行動の時にどちらの負担が多いかを定義できなければ
相手の負担を少なくする派も自分の負担を少なくする派も正解を選べない。

そしてこのメビウスの輪のジレンマはただの屁理屈と一蹴できない面があるので
フリッパーの意見も錯綜している。

「負担の多さがどちらにも入れ替わるならもう何選んでも平等ってことでいいんじゃない？」

「やっぱり二人死ぬ方が真の平等だから正しいじゃん」

「男が自殺した場合の負担は妻の方が多いでいいだろ」

「いや、負担の多さがどちらとでも言えるなら最終的に命が残っている妻の方が軽い」

「妻は自分の命よりも夫の命の方が大事なんだからそれは違う」

などと收拾がつかない。

メビウスの輪のジレンマがあることによりどうしても解釈できるので最終的には個々の価値観で答えが変わってしまう。

そしてそれを間違っていると否定することは簡単でも本人の中ではそれが正解なので本質的な否定は誰にもできないのだ。

そんなことを考えているとまた新しい疑問を投げかけるレスが書き込まれた。

「1だけどじゃあまた別の問題ね。

さっきのと設定は似てるけど気にしないで。

自分の命より相手の命の方が大事でそれをお互いに理解して愛し合っている恋人がいて男の方が道で車に轢かれそうになってしまう。

でも女が男に体当たりして男を車から助けて身代わりで死んでしまうんだ。

この場合女の取った行動は正しいか間違いか？」

「さっきと同じだろカス」

「どうでもいい死ね」

「そんなこと聞いてどうするの？バカなの死ぬの？」

という煽りが真っ先に書き込まれる。

正直、今回は多少同意する部分がないわけではない。

これも結局はメビウスの輪のジレンマで答えなんてないのでは？という思いがあるからだ。案の定予想したとおりの書き込みがいくつか見られる。

「男が自分の命より女の命を大事に思っていると女はわかっているのだからそれを無視して男を助けたのは自己中心的。

そして愛する人に死なれた男の方が負担が重いから間違い」

「男の方が負担が重いなら

自分より大事な彼に負担を多く負わせてしまっている彼女の方が負担が重いから彼女の行動は正しい」

「シンプルに命懸けの彼女を正しいということにしようぜ」

「それは相手に自分以上の負担を掛けてるからない」

さっきと同じような展開だがこれは今までの経緯を考慮すると当然の流れだった。

行動後の是非を問うという多少の違いはあるが

この質問も確かな答えを出せないまま終るだろうと思い見ていると一つの書き込みが目にとまった。

「確かに彼女は彼が自分の命よりも彼女の命を大事だと考えているのを知っていた。

でも、だからといってこの女の人が間違っているなんてどうしても思えない。

彼女はただ、自分の大切な人が目の前で死にそうになっていたから

自分を犠牲にしてでも彼を助けた。

そこにはどちらの方が悲しみが上だとか下だとか

彼を助けたら彼が自分の死と引き換えに生きることになって苦しむとか

そんな難しい考えはなくて・・・

きっと、ただ彼を助けたいっていう純粋な気持ちがあっただけなんじゃないかな？

彼の方だって彼女の死を悲しんで

自分の為に彼女が死んでしまったことで深く傷つくかもしれないけど

でもそれ以上に強くこう思うんじゃないかな？

『ありがとう』って。

彼女が自分が苦しむよりはマシだとか

そんな打算的な考えで自分のことを助けたなんて思わないと思う。

だってこの二人は愛し合っているんだから。

どちらが辛いかどうかを比べる前に

愛してなかったら自分の命を投げ出すなんてできない。

だからきっとありがとう、ありがとうって感謝すると思う。

彼女の方も彼を助けられて良かった、本当に良かったって、純粋にそう思っていると思う。

絶対にどちらの方が悲しいとかそんなことは考えてないよ。

だから、彼女の行動は間違いなんかじゃない」

これには流石に返す言葉もない・・・

数学の公式にあてはめるように理屈だけで考えていたことに気付かされた。
一番大切な人の気持ちというものを全く理解できていなかった。
人の為に動く時、人は打算や計算で動かないというのは当たり前のことなのに・・・

自分はただ小難しく
こうすれば相手がこう傷つくかもしれないとか
こうしても相手が傷つくかもしれないとかそんなことばかり考えていた。

相手を傷つけないことで
自分が傷つかないようにしようと無意識に考えているから
そんな考えしかできなかったのだ。

この意見に対して周りの反応はどうだろうか？

そう思い更新してレスを見てみるとフリッパーといえど流石に舌を巻いたのか肯定する意見が多い。
もちろん否定的な意見もあるがそれはいつものこと。

今回のやりとりで愛する人を命と引き換えに助けたらそれは正しいのか？
という問いに正しいと自信を持って言えるようになった。

しかし今回の例では恋人という設定だったので
もし助ける方が子供で助けられる方が母親だったらどうだろうか？
と新しい疑問が浮かんでしまった。

捻くれた考えをせずに納得しておけばいいのだが
電腦ちゃんねるのフリーなんかに入り浸っているので
なんでもかんでも否定するフリッパーのクセがうつってしまっている。

もちろん恋人の例では助けたとしても間違いではないと納得しているが
子供と母親の場合だと恋人同士のような対等な立場ではない為に
違う結論になる可能性も否定はできない。

疑問に思ったら自分で考えるのはもちろんだが
何ととっても実際に書き込むのが正解への近道だろう。

さっきみたいに自分では思いつかない答えを誰かが書き込んでくれるかもしれないし

人に考えてもらう分には労力を使わずに済む。
そんなことを考えながらスレッドに書き込む。

「先ほどの車の例では恋人同士でしたが
もしも助ける方が子供で助けられる方が母親の場合はどうなると思いますか？」

まともなレスが付くまでに自分でも考えて待つことにする。
とはいえ結局子供のしたことが間違いとは言えずに
さっきと同じ結論になる可能性が高いという思いが強い。

けれど、恋人や夫婦の例と違って年齢も違うしおそらくその辺がネックになってくるのではとも
思う。

恋人同士の場合は年齢も同じくらいだろうけど子供と母親だと親子以前に大人と子供だ。
大人と子供だと今までに生きた年数とかこれからの未来だとか
そういう要素も絡んできて複雑なことになりそうだ。
命は平等だからどうのとかいう意見もでるかもしれない。

そんなことを考えているうちに結構レスがあったようだがいつもと様子が違う。

「カーチャン・・・」

「おいやめろ」

「やめ・・・やめてください」

真っ先に書き込まれるのは煽りが大半かと思っていたがやめろという声が多い。

そういえばフリッパーの唯一の弱点と言われるのがお母さんだというのを聞いたことがある。

フリッパーの年齢層に30代から40代が多く親が死んでいたり
親の有り難さが身に染みている頃だからとか
それ系の感動話しがフリー発祥でいくつもあるからだとか言われているが定かではない。
ただのお決まりネタとして遊んでいる可能性もある。

書き込まれるレスも

「子供が死んだらカーチャンがかわいそう・・・」

「カーチャンを悲しませるなタケシ」

「タケシはやめろ」

「タケシ乙」

など普段の殺伐とした書き込みではなくどこことなく悲しげな雰囲気だ。
こんな調子ではまともな答えが返ってこない可能性がある。

スレッドの書き込みはその後

「タケシが死んだらカーチャンが悲しむから嫌だ」

「タケシはカーチャンを助けたから罪はない」

「タケシは生きてる！！」

「俺がタケシだ！！」

なんて書き込みで溢れていた。

ていうかタケシじゃないからという突っ込みも今さら無駄だ。
子供は完全にタケシになっていた。

しかしそんな中でさえ普通の意見が書き込まれるのがフリー。

「さっきと同じように子供が母親を助けたのは純粋に母親を助けたいという気持ちからで
死というのは結果として起きてしまう不可抗力。
母親は悲しむだろうけど仕方のないこと」

「母親も悲しむけど納得してくれるはず」

「私の子供なら助けてくれない」

「子供が偉い」

なんて意見も書き込まれる。

それに反対する書き込みも当然あって

「大人の為に子供が犠牲になるのは間違っている」

「大人はこれまでたくさん生きているけど子供はまだ将来があるし残りの生きられる年数を考えても子供が生き残る方が正しい」

なんて意見もある。

ただ、反対の意見はいまいち決定打にかけるというか
納得させられるだけの理論がないので
それでも子供のしたことは正しいという意見が大半だった。

自分も言い出しっぺとはいえ
やはり人を助けるというのは立場がどんなであれ正しいことだろうという気持ちだったが
そんなことを思っているとまた別の意見が書き込まれる。

「私は今回の例にあるように子供に命を助けられて今生きている元母親です。
特定されると困るのでどんな事故かは伏せさせてもらいますが
結論からいうと私は子供が母親を助けて母親が助かるようなことはあってはならないことだと思
っています。
なぜなら私は子供に命を助けられて良かったとか感謝とか
そんな気持ちはほとんどないからです。
恋人の例のように愛し合っている二人なら・・・
私も夫だったら悲しむ以上に感謝ができたかもしれないと思っています。
もちろんすごく悲しいとは思いますが。
でも子供というのは他の人間とは違います。
自分が産んだ最も大切な存在で
目に入れても痛くないくらいってよく言われているけど本当にそうなんです。
子供が生まれた時は涙を流して喜んだし
お腹の中にいる時から・・・出会う前から愛していたんです。
子供というのは本当に特別なもので
生まれた時はもちろん、初めて一緒に寝た夜もオムツを替えたことも夜泣きしたことも
初めてハイハイしたことも初めて歩いたことも全部全部覚えているくらい・・・
それくらい大切な存在なんです。

これはきっと私が特別とかじゃなくて世の中のお母さんはみんなそうなんじゃないかなって思います。

もしも子供の為に死ぬという状況があるなら私は迷わず死にます。

あの子を助ける為なら命なんて惜しくないからです。

私にとって一番の幸せは子供が生まれた時に子供が元気に育って幸せになることになったんです。

だから、その子供が自分のせいで死ぬなんて

私はとても耐えられないくらい悲しくて悲しくてしかたがなかったです。

私が死ねばよかったって何度も何度も思っています。

私が子供を殺してしまったようなものだと思ってしまって本当に悲しくて・・・

子供が死んだと知らされた時には目の前が真っ暗になってしまって

でもそれ以上に私の為に死んだっていうことでもっともっと苦しくなって・・・

だから、他の関係なら違うかもしれないけど

子供が犠牲になってしまうくらいだったら何もしないで助かって欲しいって思います。

なんだか何言ってるかわからないかもしれないけど・・・

長くなってごめんなさい」

なんと言っているかわからないが

とにかく母親が子を思う気持ちや深い悲しみ、絶望、そして本当に子供を愛していて子供という存在が母親にとっては絶対なんだという気持ちが伝わってくる内容だった。

こうまで言われてしまうとさすがに否定する言葉は出てこない。

恋人同士の場合はそうかもしれないけれど母親と子供の場合はそうではないと認めざるを得ない。

ここまでは予想できなくても母親と子供だったら違うかもと少しでも感じたのは間違いではなかったということだ。

しかし結局今回も前と同じで

どちらが正しいとか間違っているとかの記号をつけて物事を定義しようとしていただけだ。

人の気持ちというものを無視して考えていた。

それはこのスレッドに書き込んでいる人達も同じで誰もこの母親のような解答をもっている人はいなかった。

いや、この母親でなければこんな解答はできなかったのだろう。

本人でないとわからないことなんてたくさんある。

これがその最たる例かもしれない。

フリッパーは

「なんかごめん」

「カーチャン元気出せ」

「ちょっと親孝行してくる」

とかそんなことを書き込んでいる。

みんなこの母親の書き込みに衝撃を受けたようでスレッドはしんみりとした空気になってしまった。

そんな中こんなレスが書き込まれた。

「お母さん・・・本当につらかったでしょう。

お子さんを失った悲しみはわたしなんかには理解できないくらい大変なことだと思います。

ただ、それでもこう思うんです。

お子さんはきっと天国でお母さんを助けられたことを喜んでいるんじゃないかなって。

でもそのお母さんがいつまでも悲しんでいたら、泣いていたらお子さんも悲しいと思います。

だって自分の命を引き換えにしてまで助けた大好きなお母さんが悲しんでいたら

それはとても悲しいことだから・・・

助けたのはお母さんを悲しませる為なんかじゃ決してないから・・・

お母さんを助けてまた一緒に生きていく為にそうしたんだと思うから・・・

お母さんが自分が死ねばよかったなんて言ったら絶対に悲しむよ。

死んでしまったのは本当に悲しいことだけど

お子さんの分までしっかり生きて、助けてくれてありがとう。

助けてもらえたからこんなに幸せに生きていられるって言えるくらい幸せにならないと

せっかく助けてもらったのに無駄になっちゃうような気がする。

だから、悲しまないっていうのは無理かもしれないけど

お母さんが少しでも幸せになってくれたらって思います。

それがきっとお子さんの願いでもあるから・・・」

「ありがとう。そうだね」

それだけ言い残して母親はそれっきり書き込まなくなった。

一人のフリッパーの書き込みでこの母親は少しでも救われたのだろうか？

それはわからない。

ただ、このフリッパーの言うことが全部想像で都合のいいように考えたものだとしてもそれはそれでいいんじゃないかと思えた。

結局、死んだ人間の気持ちなんて誰にもわからない。

生きている人間に、残された人間にできることは助けられたことをどう受け止めてそれをどう生かすかということだ。

マイナスに受け止めることが仕方のないことだとしても人はそれを乗り越えなければならない。

それには長い時間がかかることもあるだろうし頭ではわかっているけどどうにもならないこともある。

人間とは感情のある動物だから理屈で考えてもどうにもならないことなんていくらでもあるのだ。

人を殺してはダメだとわかっているけど怒りで、怨みで、憎悪で人を殺す。
人のものを嫉妬で、妬みで盗み、奪う。

そんな抑えられない負の感情があるように人は悲しむことをやめられない。
悲しんでいてもどうにもならないとわかっているけどどうしても悲しみに囚われて動けないことがある。

それが人を愛したり愛されたりする為に
絆とか愛情というかけがえのないものがある為に起こるのだとしたら
人の幸せに必要なものがある為に
愛する人がいる為に起こるのだとしたら・・・

こんなに悲しいことはない。

愛と憎しみは表裏一体だとはよく言うが愛と悲しみもそうなのでは？と考えることがある。
人に限らず大切にしているものを失った時はとても悲しい。

誰だって安いものが壊れた時より高いものが壊れた時の方が嫌だし落胆するだろう。
それが人であるなら愛情が大きいほど失った時の悲しみが大きくなるのは当然のことだ。

でも傷つくのが嫌だからといって人とか愛情とかに関わらないで生きていくのが
逃げて自分が傷つかないように生きるのが幸福だなんてことは絶対にない。

この母親も悲しみは大きくて
もしかしたら一生罪の意識も悲しみも消すことはできないのかもしれない。

けれど、それでも自分が悲しむ原因になった子供を産まなければよかったなんて
出会わなければ、愛さなければよかったなんてことはない。

悲しいってことはそれだけ大切だったってことだから。

残酷な結果になってしまったとしても
彼女が子供と過ごした時間はかけがえのない幸せなものだったはずだから。

なかった方がよかったなんてものの為に人は苦しんだりしないはずだから・・・

今は無理でもいつかきっと立ち直る時が来る。
助けてくれてありがとうって思える時がくる。

そう信じている。

さて、フリッパーはというと相変わらずカーチャンには弱いようで

「目から汗が・・・」

「お母さんの子供に、俺はなる！！」

「今天国だけどタケシがカーチャン幸せになってって言ってる」

とかメチャクチャなことを言っている。

が、誰もこの母親や励ます書き込みをしたフリッパーのことを煽ったり罵ったりはしていない。

こういう時の団結力と言うかノリのよさとかは見習いたいものがある。

こちらもついつい釣られて暖かい気持ちになってしまう。

ほのぼのしてスレを眺めていると

「１０００ゲット」

そう書き込まれた。

一つのスレッドは１０００回の書き込みで終了となる為に
１０００までいくともう書き込めなくなるのだ。

話しを続けるには新しくスレッドを立てる必要があるが
それがない場合はそのままその話題は終了となる。

しばらくフリーのスレッド一覧を更新していたが
次のスレッドが立つ気配もないので
そっとブラウザを閉じた。

ブラウザを閉じた後、他にすることもないので

結局もう一度ブラウザを開き適当に他のサイトを見ることにした。

お気に入りに指定している海外のサプリメントのサイトを見て何かいいものはないかと探す。

最近では普段の食事ですり足りない栄養をサプリメントで補うのが基本だが

日本のサプリメントは海外に比べて品質や量だけでなく

価格面でも劣るので海外から個人輸入している。

電腦ちゃんねるのサプリメント関係のスレッドでこのサイトを知ったのだが

数あるマルチビタミンやマルチミネラルの中からどれを選べばいいかを

成分や実際の使用感などから多くの人が議論していてとても参考になった。

電腦ちゃんねるは日々の暮らしの中でもこうして確実に役に立っているというわけだ。

といっても今回は特にいいものが見つからなかったので買うのはまた今度にする。

次は電腦ちゃんねるの抽出サイトを見る。

抽出サイトとは電腦ちゃんねるに無数にあるスレッドや書き込みの中から

おもしろいスレッドや書き込みを抽出して見やすくしているサイトのことだ。

電腦ちゃんねるは誰でも見れるがつまらないスレッドや余計な書き込みが多くて

そのまま見てもあまり楽しめないことが多い。

それを解消したのがこういった抽出サイトで

ネット初心者でも気軽に電腦ちゃんねるを楽しめることから人気が出ている。

もっともこういう抽出サイトの管理人も慈善事業でやっているわけではない。

人がたくさん集まれば広告を出してくれとスポンサーが付いて

広告費で儲けることができるし

抽出サイトの広告をクリックして商品を買ってもらえれば

何パーセントかが管理人の収入になるという仕組みもある。

広告収入というのは普通そこまで稼げるわけではないが

この抽出サイトというのは人気サイトになると

月に3000万円を超える収入になるとも言われていて

電腦ちゃんねるの、特にフリッパーの間では不評を買っている。

確かに自分たちの書き込みで金儲けをしている人間がいるとわかれば
頭にくるのは普通の感覚で、自分もこの部分はフリッパーに同意している。

だから仮に抽出サイトで欲しいと思った商品があっても
検索エンジンで検索してから買うように注意して
何とか管理人の収入が増えないようにしている。
微々たるものかもしれないがやらないよりはマシだ。

まったく、こんなことは本当はしたくないのに
フリッパーの人の足を引っ張るクセがうつったかな。

記事を見ているとさっそく先程の
「どれが正解だと思う？」
というスレッドがまとめられていた。

自分の書き込みが抽出されていないかとチェックをするがなかった。
というより中途半端で1000ゲットの書き込みの手前で抽出が終わっている。

いい加減な抽出しやがってと若干腹が立ったが
別にいいかとすぐに溜飲を下げてザーッと流し読みをする。

抽出サイトは一つ一つの記事にコメント欄が設けられていて
誰でも書き込みをすることができる。
大体が批判的な書き込みなのは電腦ちゃんねると変わらないが
この抽出サイトのコメント欄は電腦ちゃんねるの人間より若干偉そうなのが特徴だ。

案の定、結果を見た後のクセにそんなことわかってましたよと言わんばかりのコメントが多い。

「当たり前じゃね？w」

とか

「こいつらそんなこともわかんねーのかよw」

といった発言が目立つ。

この最後についている

「w」の文字が笑っている口のように見えるからなのか
バカにしている時やおもしろい時につけるのだが
こういうところで見るとイラッとすることが多い。

他にはおもしろい画像をひたすら貼ってある抽出記事なんかがあるが
大体どれも見たことのある画像で特におもしろくはない。

適当な抽出しやがってとは思うが
管理人もお金のために毎日更新をし続けなければならないから作業が雑になるのだろう。

そんな事情は関係ないのもっとマシな抽出記事を作れといつも思う。

抽出サイトも大体チェックしたし
そろそろ電腦ちゃんねるに戻ることにしてお気に入りから電腦ちゃんねるへと飛ぶ。

さっそくフリーにいき何かおもしろいスレッドはないかと探していると

「おっさんだけど一人で水族館に行ってきた」

というスレッドを発見。

ワクワクしながらスレッドをクリックするとまだ画像が貼られていない。

これは後で見ようと更に別のスレッドを探す。

すると

「顔と性格どっちが大事？」

というスレッドを発見した。

おもしろそうだと思いクリックすると
結構時間が経っているので200程度はスレが進んでいる。

「顔」

「顔」

「顔」

と、予想していた通りの答えが書き込まれている。

ネットの掲示板の中でも

特に電腦ちゃんねるの住人は綺麗事や建前を嫌う傾向が強い。

リアルでは建前や空気を読むといった作業で抑圧されているので
その反動でネットでは言いたいことを言うのだろう。

そんなネットの住人と現実社会で接する人間があまりに違うので
ネットで本音で発言をする人間をどうせ口くさな人間じゃないとか
無職とか引きこもりしかいないと決め付ける人間もいるが
結局ここにいるフリッパーもリアルではちゃんと仕事をして
空気を読んだり建前を言ったり普通の人間をしているんだろうと思う。

「弁護士だけど質問ある？」

というスレッドでどうせ偽者だろうという書き込みがあると
弁護士バッジが写真に撮られてスレッドに貼られたりもしているし
偏差値の高い学校の学生証が写真に撮られて貼られていたこともあった。
ここには学生も社会人も子供も大人も男も女もいろんな人がいるんだろうと思う。

そして皆、普段は言えない本音を言ってストレスを発散したり
自分の意見が他の人とどう違うのか？
なんてことを確かめたり議論をしたりしてヒマ潰しをしている。
自分もそのうちの一人だ。

リアルで本当に思っていることを言っても
冷たい人とか空気が読めない人みたいに思われるが
ここではそんなことはない。
ここでは建前を言う必要がないのでどんなことを言っても平気だ。

このスレッドのように

「顔と性格どっちが大事？」

なんて質問に顔と正直に答えても共感されることが多く
批判されることはあまりない。

逆に

「性格が大事だよ！顔なんてどうでもいい！」

なんて書こうものなら
綺麗事言ってるじゃねーぞと叩かれるのがオチだ。

もちろん本当にそう思っている人もいるだろうけど
フリーだとそういう綺麗な人間が考えそうなことは
納得できる説明をしなければ信用してもらえない。

それに何でもかんでも否定から入る人間が多く集まる場所だから
本当は顔だと思っていってもあえて性格だと言って
顔だと言っている人間を否定して優越感に浸ったり
逆上させることに至上の喜びを感じるフリッパーもいる。

そんな光景が日常茶飯事なので
こういう場合に性格が大事なんて言うとうどうせ嘘だろうと叩かれるのも仕方のないことだと感じる。

この

「顔と性格どっちが大事か？」

なんて議論は誰でも一度はしたり考えたことがあるのではないかと思う。
が、リアルではほとんどの人が周りに合わせて
性格が大事だと言い無難なまま終わってしまうことが多い。

たまに反抗期とかひねくれている人間が
顔と言ったりして注目を集めることはあるが
そんな例外を除けばほとんどの人が性格と答えているだろう。

これは外見だけで人を判断していると思われると周囲の人からの評価が下がるし
「その顔で？」

なんて馬鹿にされたりするなどメリットよりデメリットの方が大きいことに起因するのだろう。

スレッドには顔を選ぶ理由として

「なんだかんで顔で好きになることが多いから」

とか

「実際にモテるのは顔がいい人だから」

と例があがる。

リアルでは内面を見て好きになると言い合ってはいても
実際に好きになったりモテる人が顔のいい人間とはなんとも皮肉な話しだ。

しかし、実際テレビに出ている芸能人や歌手なんかも
顔が綺麗な人が多いし人気の要素として容姿が重要であることは否定できないだろう。
学生の頃にモテていたのは顔がかっこいい人だったり女の子ならかわいい子と決まっていた。
人が顔の醜い人より顔の美しい人の方が好きなのは間違いない
と言っても過言ではないだろう。

そんなこんなでスレッドを読み進めていくとこんな書き込みがあった。

「じゃあ性格が悪い美人と性格のいいブスだったらどっちがいいんだよ？」

「うーん」と思わず唸ってしまう。

これもなんかどこかで見たことがあるような質問だ。
大体この手の質問で顔と性格どちらを重視している人間か判断されることが多い。

それに対し書き込まれるのは

「性格が悪くても美人なら許せる」

「美人でも性格が悪いとどうせ別れる」

なんて意見や

「顔より性格が大事だからブスを選ぶ」

「ブスは三日で慣れるけど美人は三日で飽きる」

「お前それブスが考えた嘘だってこの前見たぞ」

なんていう書き込みまでさまざま。

もちろん

「ブスは死ね」

「ブスが作った飯なんて食べられない」

「嫁がブスだけど死にたい」

「フヒヒ・・・B専なんでw」

なんて煽りもある。

結局この質問だと顔と性格というより

「ブス」と「性格が悪い」という部分を消去法で選んでいる気がして理由が納得できるものにならない。

そもそも美人だと性格が悪いとかブスだと性格がいいという部分がどうも納得できない。
美人でも性格が悪いとは限らないし性格がよくてもブスとは限らない。
また、普通のレベルだってある。

マイナス要素により消去法になってしまうのなら

「美人で性格が普通」と「性格は良くて顔が普通」にしなければ顔と性格を比べられないのではないか？と思う。

さっそく

「顔が良くて性格が普通」と「性格が良くて顔が普通」だったらどちらがいいか？

という質問を書き込んでみるがそれでも意見は半々くらいで割れている。

顔派は

「性格が普通だったら顔がタイプの方がいい。人間何だかんだで見た目」

「顔がタイプなら性格はあまり気にならない」

という意見で

性格派は

「見た目以上に性格が合うことの方が大事」

「中身がよければ顔も自然と好きになる」

という意見など様々だが

性格が悪いとかブスというマイナス要素がなくなると

どちらの意見も間違いではないように思えるし否定できるものでもない。

自分に当てはめて考えてみると

小学生の頃なんかはほとんど見た目だけで選んでいたような気がする。

結構気が多い性格だったので

少しでも顔が良ければ好きになっていた記憶がある。

性格とかそんなのは後から知っても

余程悪くない限り気持ちが変わったりはしなかった。

もっとも、顔が好きなだけだから

他にもっとかわいい子がいたりしたら

そっちの方をより好きになったりはしていたが・・・

そして成長するにしたがって顔はもちろん内面も見erようになり

顔だけで人を好きになることは少なくなっていくた。

顔がきれいだとか、かわいいとかは思っても
それだけで好きになるほど単純ではなくなってくるのだ。

自分に優しくしてくれたとか一緒にいて楽しいとか
そういう要素も重要になってくるし顔の好みというのにも出てくる。

ただ美人だから、かわいいからというだけでなく
微妙に崩れている方がよくなったり
顔の形とか目の形とかそういうのに好みが出てきて

頭ではAさんの方がBさんよりかわいし
世間の評価もそうだとわかってはいても
なぜかBさんの方が好きな顔だったりなんてこともある。

性格に関しても一時期はただ優しい子やおとなしい子が好きだったのに
活発でよく笑っている子が好きになったり
暗い子が好きになったりする時期があって
結局どれが一番だなんて決まらないでいる。

こうして色々と思い出してみると性格と容姿というのは一概に
どちらが大切か決められないからどちらも大切な要素という結論でいいのでは？
という気がしてくるがそんなことを考えているとまた別の書き込みがある。

「きれいごとと言ってる奴がいるけど
結局どんなに性格がよくてもブサイクだったら好きにならないだろ？
お前らの好きな人の顔があおさんでも好きになるのかよ？」

あおさんとはフリーでよくネタにされるブサイクなネットアイドルの名前だ。

ブスのクセにブログに自分の写真を貼ったりしているので
その度にキモイとかグロとか叩かれているが
ブログを更新する度にフリーにスレッドが立つほど注目されている人物でもある。

顔は正直
世界に女があおさんだけだったとしても遠慮するレベルの顔だが
自我撮りの写真をブログに貼ることを除けば性格はいい方に入る。

確かにどんなに性格が良くてもあおさんはきつい。
実際にこうして例を出されるとやはり顔かなあという気になってくる。

性格を見て好きになるという人でも
純粋に性格だけを見れる人がどれだけいるだろうか？

実際には容姿というふるいにかけて後に性格を見ているだけで
性格だけ良くても顔がダメだったら審査の対象にすら入らない

というのが本当のところではないか？

好きな女性芸能人がいるがその人の顔があおさんだったら
正直好きになるどころか初めから見向きもしていないだろうというのは自分でもわかる。

フリッパーも

「あおさんはやめろ！」

「あおさんは無理だろ・・・」

「仏崎さんなら」

と結局あおさんの顔だったら好きになっていないという点では一致しているようだ。

こうなるとやはり顔の方が大事という結論になっても仕方がない
と思えてくるが別の書き込みを見ると

「顔が大事なことは認めるけどさ
性格がキツイのは絶対に無理だぞ
前の彼女は顔はかわいかったけど
わがままで自分の思い通りにならないとすぐ不機嫌になるし
自分の間違いは絶対に認めないし
人の話しは聞かないし一緒にいることがストレスでしかなかった。
結局他の男と浮気してるのがバレても謝るところか
あんたが放っておくのが悪いとか開き直るから呆れてそのまま別れたんだけどあれはマジでなかった。

かわいいと男が寄ってきてチャホヤされて浮気するから少しブスな位がちょうどいい。
前は確かに顔が全てだと思ってたけど
今となっては性格がいい方が大事だと思うわ」

という意見もある。

ここまで酷いのは極端だと思うが性格が悪いと
どんなに見た目が良くても意味が無いといういい例だろう。

「やっぱ性格が悪いと無理だわw」

「まあ最初から気付いてたけど人間は性格」

「俺は初めから性格だと思ってたよ」

なんて書き込みもでてくる。

手の平返しが酷い。

変わり身の早さもフリッパーの特徴だ。

しかし

「ここまで酷いのは極論。

突き詰めればどっちが酷すぎても無理だしギャーギャー文句言うだろ。

現実的に考えれば性格も見た目も極端に酷いのは除外される。

なんであおさんレベルが無理だったら顔の方が大事で

わがままな浮気女がダメだと性格の方が大事なんて極論になるんだ？」

なんて書き込みもでてくる。

確かにこれは言われてみればそうなのだ。

極端に酷いものは誰だって嫌だし

それが無理だからと言って全てを完全に否定する理由にはならない。

難しい問題だとパンクしそうな頭であれこれ考えていると

また新しい質問が書き込まれる。

「みんなどっちが大事っていうので顔で選ぶか性格で選ぶかで考えてるけどさ。
自分はどっちで選んでほしいの？
話しはそれからだ。」

これはまた基本的な考えが抜け落ちていたと気付かされる。
人を選ぶ前に自分はどうかと考えることが先だったかもしれない。

自分はどうかと考えると
容姿的な要素よりは内面を見て好きになってほしいとの思いが強い。

容姿を褒められたり好かれるのはもちろん嫌な気はしないが
それは社会的な評価とか見栄とかそういうモノに関わる部分で
自分の好きな人には内面を見て判断してもらいたいと思う。

外見で好きと言われてもじゃあもっとかっこいい人ならもっと好きなの？
という疑問がでてくるからだ。

世の中自分より容姿的に上の人間なんていくらでもいる。
それは内面にも言えることかもしれないが
少なくとも内面というのは少し関わっているくらいで見えるものではない。
一人の人間と長く関わる中で段々と見えてきたり理解していくものなのだと思う。

今の社会では人と人との関わりが希薄になっているばかりか
社交辞令だとか空気を読むとかそういう見えない強制や重圧に押されて
本心を見せたり発言する機会が減っている。

特に日々の生活の中で時間を多く割いている職場ではその傾向が激しい。
思ったことを言ったりやりたいことをするなんてできないのが普通だ。

例えば「好きなタイプと嫌いなタイプは？」なんて質問をされて

「年下で顔はアイドルのAに似ていて胸が大きくておもしろい子がタイプで年上とうるさいのと
デブとブスは嫌い。」

なんて馬鹿正直に答えれば

「何様だ貴様は！」と思われて
嫌いなタイプに該当する人との関係が悪化するのには目に見えている。

だからなんだかんだでみんな無難な回答をして角が立たないように
少しでも空気が悪くならないようにしているのだ。

大抵

「やさしい子が好き。顔にはこだわらない。」

なんて答えがお約束になっている。

そしてそんな風に人に気を使っているうちに
自分の意見より相手が望む答えを返すクセがついてそれが当たり前になる。

これがどういうことかというと
その他大勢はもちろん自分のことを好きになってくれる人
自分が好きになる人にさえ本音や内面を隠したままで接してしまうということだ。

これにより好きな人と付き合うことになって
いざ本音や内面を見せるようになった時
最初のイメージとギャップがある為にすれ違いが起きたり破局したりする。

内面を知ってほしいという思いがある一方で
内面を隠したまま人と接することがクセになっているので
それが誤解を生むというなんとも皮肉な話だ。

これは矛盾しているようだが多くの人が陥っている落とし穴のようなもので珍しくはない。

本当の自分を知られるのが怖いから本音を隠して人と関わるが
本当は知って欲しいという思いもあるから
徐々に本当の自分を隠さずに出していき
内面を見せても好きでいてくれる人を探す。

おそらく内面を好きになってほしいという人間の多くは
個人差はあれどこんな感じなんじゃないかと思う。

少なくとも自分はそうだ。

そして、内面を見て本当の自分を好きになってくれる人こそが真の理解者であり
ただの顔だけがいい人間より価値があると言えるのではないだろうか。

もちろん顔派の言うように一目惚れなんてものもあるが
どちらかというそれは今考えた理性的なものとは対極の本能的な部分であると考えられる。

本能では男も女もみんな容姿がいい人を求めるから理屈抜きに見ただけで好きになったりする
。

しかし人間は本能だけで生きられるほど単純じゃないから
こうして内面を誰かに認めてもらいたいと考え

そして自分の内面を認めて好きになってもらいたいという思いがあるからこそ
自分も相手の内面を見て判断するという現象が起きるのかもしれない。

ところで人の性格というと明るいとか暗いとか元気とか怒りっぽいとか大体の性質を表す言葉で
正確には今考えているような内面や本当の自分なんてところとは無縁な気がするが

「顔と性格どっち？」

なんて質問の場合には多くの人がそこまで考えずに
容姿以外でその人を形成する部分と認識している。

これを指摘してもそんなことわかっていると言われそうなので
フリーで指摘したりはしないがどうしても言葉は正しく使わないと釈然としない。

顔派にしても正確には顔だけでなく
身長や胸の大きさや太っているか痩せているかなど
容姿を形成する部分が全て含まれていることは承知の上だろう。

顔派は容姿派、性格派は内面派とでも言う方が正確かもしれない。

もちろん指摘などはしないが・・・

さて、今考えたことをうまくまとめてフリーに書き込むことにする。

といっても相当長くなってしまったが・・・

まあやはり

「長すぎる」

「三行で」

「これはまで読んだ」

なんて煽りが真っ先に書き込まれるがそれはお約束。

しばらくすると

「言いたいこと言ってくれた！」

「よくわかる」

「これだよ！これこれ！」

なんて賛同する書き込みが見られる。

特に

「本当の自分を知られるのが怖いから本音を隠して人と関わるが
本当は知って欲しいという思いもあるから
徐々に本当の自分を隠さずに出していき
内面を見せても好きでいてくれる人を探す」

という部分と

「自分の内面を認めて好きになってもらいたいという思いがあるからこそ
自分も相手の内面を見て判断するという現象が起きるのかもしれない」

という部分は多数の共感を得ているようだ。

性格派の書き込みを見ていると顔派の人間とは価値観が全く異なっていると感じる。

例えば性格派は

「顔が良くてもよく知らない人を好きにはならない」

「好きになるのはその人をよく知ってから」

などの意見が多いが

顔派は

「性格が良くても顔が不細工なら好きにはならない」

「顔さえタイプだったら初対面でも好きになる」

という意見が大半だ。

これは要するに人を好きになるまでの時間が短いか長いかで
その人が顔派か性格派かを判断できるということである。

当然のことだが初対面ですぐに好きになるなど短ければ顔派で
初対面ではなんとも思わないがその人のことを知るうちに好きになるなど
長い時間がかかるのは性格派だと言える。

自分が性格派なので否定的になってしまうことを差し引いても顔派の価値観はどうしても薄っぺ
らく感じてしまう。

スレッドも今は性格派の書き込みが多く顔派の意見は圧されている感じだ。

しかしそんな中で顔派から反論が書き込まれる。

「顔派の人間は軽いとか薄いとかみんな言ってるけど
見た目がかわいいとかキレイって理由で好きになることがそんなにダメなことなのかな？
例えば花がキレイだから好きとかウサギがかわいいから好きとか空がキレイだから好きって言っ
ても誰も否定しないだろ？
なんで人間の時だけ底の浅い人間ってレッテルを貼られたりするの？
なんかおかしくない？

俺の意見で言わせてもらおうと

人を好きになるのに目に見えない何かを探り合って

それが本当かどうか疑ったりしてゴチャゴチャ考えている人間よりも

目に見える美しさで素直に好きだと思える人の方が純粹でいいと思うけどね」

これは説得力のある意見だ。

人間以外の景色や動物や植物をかわいいとかキレイという理由で好きになってもそれはなんらおかしいことではない。

人間にはここで言われているような性格や人格があるからそれらとは別という考えも一瞬よぎったが

それが見た目の美しさで人を好きになることを薄っぺらいと定義する理由にはならない。

確かにキレイなものをキレイだから好きと素直に思えるのは純粹で素晴らしい感性かもしれない。

人を内面で判断するのが大事だという価値観は揺らがないが

人を容姿で好きになることを否定していたのは間違いかもしれないと思えてきた。

「少しブスなくらいがちょうどいいだろ？」

「ちょいブスが一番興奮する」

「かわいいと浮気するじゃん」

なんて否定とも煽りともいえないレスが書き込まれるが

さらに顔派のレスは書き込まれていく。

「例えば何か商品を買う時に中身は同じでも箱の形の良いものと悪いものがあったとしよう。

そしたら良いものを選ぶのは当然。

傷がついていたり箱が汚れていたりしたら普通はそれを選ばないだろ？

そしてそのことを誰も責めたりはしない。

人間だって同じだよ。

あえて傷がついていたり箱が汚れているものを好きと言うのはただの偽善者。

自分が見た目で人を選ばない人間だと納得する為に自分に嘘をついているだけ。

傷がついていたり汚れているものにも失礼だ。

自分の内面を認めてもらいたいという思いがあるから
自分も相手の内面で判断するという現象が起きるのかもしれないって言ってた人がいたけど
本当は自分の容姿が劣っているから別のところに価値を見出して
そっちの方が価値があると逃げているだけの気がする。
そうして容姿の劣っている人間でも価値があると思い込まないと
自分のことも劣っていると認めることになるから
そうならない為に容姿より内面が大事だとすり替えて
自分も価値のある人間だと思おうとしている。
そんな風に見えるよ」

ド畜生が！

まさか先ほど出した意見が真っ向から否定されるとは思わなかった。
が、言っていることは一理あると認めざるを得ない。

人というものを商品とするなら確かに見た目の美しさも中身と同様に大切な要素に含まれる。
中身が同じなら見た目が良い方が優れているのは明白だ。
そして人間は見た目が美しいからといって中身が劣っているなんてことはない。

ブスで性格がいい人間と美人で性格が悪い人間なんて極端な例は滅多に無く
ブスで性格がいい人もいれば美人で性格がいい人もいる。
そして性格が同じなら美人の方がより価値のある人間だというのは否定できるものではない。

しかしこの顔派の意見にもおかしいところはある。

自分の容姿が劣っているから内面の良さに逃げているというが
それは容姿が優れている人には当てはまらないということだ。

容姿の優れている人が性格派なら
それは自分に嘘をついているなんてことにはならず
純粹に人を内面で好きになっていると言える。

自分は容姿に自信がある方ではないが劣っているという程でもない。
つまり逃げているなんてことは断じてないと言い切れる。

が、自分が価値のある人間だと思い込む為に容姿よりも内面に重きをおいて
容姿の優れている人間に対抗しようとしていた気持ちが全くないかと問われれば断言することは

難しい。

内面が同程度なら容姿の優れている人間に人として負けてしまうというのは悲しい現実だ。

苦し紛れだが

「容姿の優れている人にデメリットはないか？」

と書き込みフリッパーの反応を待つ。

「あるわけねーだろ不細工乙w」

「悲しいけど俺らブサイクに希望は無いよ」

「おら！生まれてきてごめんなさいしろ！！」

と、予想通りの煽りが書き込まれ

最早ここまでかと諦めかけていると少し長いレスが書き込まれた。

「フリーで美人と言ってもおっさん認定されると思うけど

一応自称美人の意見を言わせてもらおうと美人にもデメリットはあります。

まず、相手が顔だけで選んでくる可能性が非常に高くなること。

そして相手がいくら性格で選んだとか中身で好きになったと言ってくれても

それを信じきれないことです。

私は内面で人を選ぶし内面で選んでもらいたい派の人間なので美人というのはデメリットになっています。

もしブスだとしたら相手に性格で選んだと言われれば

それを信じることもできると思いますが私の場合はどうしても信じきれないので

それがとても悲しいです。

可愛いとか綺麗って言われるのが当たり前になると

近づいてくる人みんなが顔だけしか見てないんじゃないかとか

身体目当てなんじゃないかとかそんな風に考えてしまって・・・

性格で好きになったと言ってくれる人と付き合ったとしても

この人も結局は他の人と同じなんじゃないかって疑いが晴れない。

ブスだったら相手が顔で選んでこないから

内面で選んで欲しい人にとっては逆にメリットになるのでは？とさえ思います」

これは新しい。

本人が内面で選んでもらいたい性格派であることが条件だが
容姿の良さがデメリットになるケースが確かにある。

そして容姿の劣っている人には容姿で人を選ぶ人間を回避でき
内面で好きになったと言われてもそれを信用できるというメリットがあるとわかった。
また、美人が性格派であることから内面には容姿以上に人を惹きつける魅力があるという証明にもなった。
これは顔派の言っていた容姿の劣っている人が内面に逃げているという定義を否定するには十分な事実だ。

そもそも世の中には美男美女のカップルもいるが
お世辞にもキレイとは言えない女性とかっこいい男性、ブサイクな男と美人のカップルなどがある。

これは必ずしも人が人を容姿だけで選ぶわけではないという証明ではないだろうか？

自分の考えを書き込み反応を待つ。

するとすぐに顔派からの書き込みがある。

「世の中にはB専だっているんだから
ブサイクだからといって必ずしも性格で選んでもらえるとは限らない。
性格派の奴は容姿で人を選ぶことについて否定的なんだからB専がブスを選ぶことも否定しろよ。
性格じゃなく顔で選んでるのは変わりないんだから。
B専がブスを選ぶのもキレイな人を顔で選んで好きになるのも本質は同じだからな。
それからブスとイケメンとかブサイクと美人のカップルがいることが
人が人を容姿だけで選ぶわけではない証明っていうけど
今言ったようにB専の可能性だってあるから証明にはならない。
あと顔で選んでないってことがイコール性格派ってわけでもない。
顔と性格以外にも金目的で付き合うとか結婚するとかいくらでもあるから。
それから書き込んだ奴が美人かどうかなんて確かめようがないんだから証拠とするには論外。
ただのブサイクが美人を装って性格派の擁護をしてるだけの可能性も十分ある」

もうコテンパンだ。

確かにこの顔派の言うとおり

自称美人の書き込みが本当の美人かは確認できないのだから

その書き込みを証明に使うには無理がある。

そして容姿に落差があるカップルの存在も必ずしも純粋な性格派がいることの証明にはならない。

もはやこれまでかと諦めかけていると少々熱い性格派の書き込みがされた。

「オレはブサイクだけど美人さんの書き込みで希望が持てたよ。

ブサイクだから恋愛とかする資格ないと思ってたけど

もしもオレなんかを好きになってくれる人がいたら

それは外見なんかに左右されず

本当のオレを見て好きになってくれるってことだからホンモノだ。

そんな人と出会う為ならもう少し頑張ってみようと思える。

それからオレだって人を好きになることはあるけど

顔だけで好きになるなんてことはないし性格がいい子とか優しい子が好きだ。

顔派は逃げてるとか言うだろうけどそんなことはない。

オレが顔より性格で人を好きになってるんだから

オレ自身が逃げてないっていう証明だ！！

自分に嘘なんかついてねえよ！！

美人とかブサイクとか関係ねえよハゲ！

金で付き合う人間だっているだろうけど

それこそ全部が全部金目的っていう証拠ないだろ。

大体B専なんか滅多にいねえだろ！

世の中B専だらけだったらとっくに彼女いるんだよハゲ！！

とにかくオレが証明だ！！わかったかハゲ！！」

「ハゲとばっちりすぎワロタw」

「ハゲは関係ねーだろハゲ！！」

「おい、今ハゲって言ったの誰だ・・・？」

「ようハゲ」

と、ハゲの多様でネタっぽくなってしまい

フリッパーの反応もハゲに集中しているがこれはまともな反論だ。

少々感情的だが素直にかっこいいと思ってしまった。

あれこれ考えるのもいいが自分の感覚を信じることも大切だと気付かされた。

他のフリッパーからも

「本人がそう思っているなら何よりの証明だな」

「俺も不細工だけどホンモノを探しに行くか」

「B専でもいいから彼女ほしい」

など様々な書き込みがあるが否定的な意見はない。

そうこうしているうちにスレは1000に近づき自然とフェードアウトしていった。

結局、顔と性格どちらが大事か？容姿派と内面派のどちらが正しいか？

というのは結論がでなかった。

しかし、このスレッドの議論で以前より見識が深まったのは確かだ。

顔派の価値観を薄っぺらいと決め付けていたが

見た目の美しさで人を好きになるというのは悪いことでも薄っぺらいことでもない。

空気を読むとか周りに合わせるとかしているうちに知らず知らず

見た目で人を選ぶのは悪いことで内面を見て選ぶのは良いことだと洗脳されていたのかもしれない。

それから自分は性格派だが

今回の議論で顔派の人間を少し羨ましく感じた点がある。

内面は目に見えるものではないし

理解するのに時間もかかるし

信用できるか？

という問題もあり結構複雑だ。

対して容姿は目に見える確かなものなので

それだけで本当に人を好きになれるのなら顔派の方が楽であることは明白だ。

もし顔派だったら難しいことを考えたりしないで済んだのに・・・
と少し思ってしまったのだ。

ああ、しかし見た目というのは年々劣化していくものだ。

そうなると顔派の人間はいったいどうするのだろうか？

やはり顔だけで好きになっているから容姿が劣化すれば
その時点で気持ちも冷めてしまうのだろうか？

それともそのまま好きでいられるものなのだろうか？

もし容姿の劣化で気持ちが冷めてしまうのなら
やはり性格派の方が正しいと言えるのだが・・・

スレッドが終ってしまった今ではまた似たようなスレッドが立つまで確認のしようがない。

それに自分が性格派であることはおそらく変えられないので
これからもいろいろ考えながら人と接していくしかない。

そんなことを思いながら次に見るスレッドを探しに行く。

次に見るスレッドを探していると

「お金と愛はどちらが大事か？」

というスレッドが目に入った。

中々興味を引くタイトルなので覗いてみることにする。

3分の1近くは既に埋まっていっていろいろな意見が出ている。

お金派の意見は

「愛がなくても生きていけるけどお金がないと生きていけない」

とか

「お金さえあれば幸せ」

なんていうものが大半だ。

対して愛派の意見は

「お金だけあっても幸せにはなれない」

という意見から

「愛さえあればどうにかなる」

という精神論まで様々だ。

このお金と愛はどちらが大事か？という議論を見るといつも思うのだが
人によってお金というものの認識がズレている。

例えばお金がないと生きていけないという人が認識しているお金は
生きて行く為に必要最低限のお金で

逆にお金だけあっても幸せにはなれないという人は

贅沢をするお金という意味で「お金」という言葉を認識している。

その為にお金派はお金がないと生きていけないと譲らないし
愛派も愛があれば幸せだし生きていけると反論し議論が平行線になってしまう。
このスレッドもまさにその状態で膠着している。

これは他の議論でも言えることで
例えばまともな親がいる人にとって
親とは自分を産み育ててくれた感謝すべき尊敬する人間という認識だが

家事や仕事もまともにせず子育てを放棄しているような
嫌われて当然の親をもつ子供からすれば
親とはクズで尊敬する価値などない人間と認識されている。

そういう対極の親を持つ人間が親というものを議論した際
クズ親をもつ人間が親はクズだと言えばまともな親をもつ人間は
親とは尊敬すべき人間だと言って譲らず喧嘩になることがある。

まともな親をもつ人間もクズ親をもつ人間も
思い浮かべているのは自分の親であり相手の親ではない。

その為認識にズレが生じるのだが
こんな当たり前のことが議論するものによっては無視されたまま進行されることが多い。

これが友達や同僚という話しであればクズな友達をもった人間が

「友達なんてクズだ」と言っても

そうでない友達をもつ人間が

「それはその人がクズなだけで世の中の友達全てがクズなわけではない」

と、当たり前の解答を言うだろう。

しかし、親という古来から尊敬すべきものとして定着しているものに関しては
個を認識せず「親」という一つの固まりで認識し
自分の親が尊敬できる人間なら他の人間の親もそうだろうと決め付けて

クズな親などいないかのごとく話しを進める人間も多い。

これはクズ親をもつ人間にも言えることだが

「親」というものにも個々の違いがあるにも関わらず話しをする時には

「親」と共通の言葉で話すことから

相手の親も自分の親も同じようなものだと思認してしまい生じる現象だと考えられる。

自分はこれを「言葉のマジック」と呼んでいる。

今回の「お金」というのも同じようなもので

生きるのに必要最低限のお金を例えば月２０万円と仮定すると

お金がないと生きられないと主張する人の認識しているお金は月２０万円だが

愛があれば生きていけると主張している人のお金は月２０万円以上のお金であると推測できる。

つまり、愛があれば生きていけると主張する人は

必要最低限のお金である２０万円程度は既にあるもので

それ以上を必要かどうか聞かれていると思っているのだ。

この考えをスレッドに書き込むとやはり当たっていたようで

お金派の考えは

「一円以上ならお金」

「お金を選ばないということは自給自足で暮らすということ」

「生活するのに必要とするお金だと思っていたでござる」

など、極端な考えもあるが

基本的には愛を選べばお金は全く手に入らないと認識していた。

対して愛派は

「贅沢する為のお金だと思ってた」

「もし一円もない状態と愛か？と聞かれたら愛を選ぶのは厳しい・・・」

「え！愛か金持ちかって質問じゃなかったの？」

と、愛を選んでも貧乏ながら普通に暮らす程度のお金は手に入るという認識だったようだ。

このように両者の間に認識のズレがある状態では
まともな議論になどなるはずもなかった。

何か条件を設定して選べばまともな議論になるかもしれない
と思っていると条件設定の書き込みがあった。

「じゃあ条件を設定しよう。
お金を選んだら１０億貰える。
愛を選ぶと好きな人と愛し合って暮らせるが
やっと食べていけるくらいの貧乏暮らし」

これは結構妥当な条件だと感じた。

フリッパーも多くがこの条件で議論することに賛成のようで

お金を選べば１０億。

愛を選べば愛する人と暮らせるが貧乏暮らし。

ということで合意した。

お金派の意見は

「金があれば何もいらない！
好きなもの買ってうまいもん食べて豪遊すれば愛なんて忘れる！
金！金！金！」

「愛があってもお金がなければ冷める」

「１０億で贅沢できるなら愛なんていらない」

など欲望丸出しの意見から現実的な意見まで様々だ。

愛派の意見は

「お金があっても愛する人がいなければ幸せとは言えない」

「生きていけるだけのお金があるならあと必要なのは愛だけ」

「愛があれば10億なんていらねえよ！！」

など、両者は真っ向から対立しているようだ。

自分はというと、まだどちらとも言えない。

何かを選ぶ場合はまずプラス要素を天秤にかけてより良いと思った方を選ぶ。
それでも選べない時はマイナス要素を検証して消去法で選ぶのだが
今回はまだどちらとも言えないのでフリッパーのやりとりを見ながら考えることにする。

するとさっそくお金派の書き込みがされた。

「愛があればなんて言う人いるけど
結局お金がないと気持ちが冷めて愛も冷えるよ。
大体お金がなくて自殺する人はいるけど愛がなくて自殺する人なんていない。
お金は必要なものだけど愛は必要ないんだよ。
それに10億で贅沢するのに比べたら
たかが好きな人と暮らすのなんて霞むと思う。
自分の経験を言わせてもらおうと好きな人と暮らしているうちに
結婚しようってことになって結婚資金を貯めてたんだけど
自分の母親が病気になってお金が必要になった。
それで私が援助したんだけどそのせいで当初の予定より
貯金の貯まるペースが遅くなってケンカするようになった。
相手の言うことを要約すると
オレは二人の幸せの為にいろいろ我慢して結婚資金を最優先している。
だからお前も結婚資金を一番に優先しろ！
二人の結婚を最優先しないってことはオレのことを好きじゃないってことだ！
ってことなんだけど
確かにわかる部分はあるけどこっちにも都合があるし
それで別れてたら世話ないな一って思った。

お金があれば別れなかったから結局愛よりお金じゃんって思う」

この女性もある意味言葉のマジックにかかっている。

過去の体験から愛よりお金という結論を導き出したようだが
一つの事例で愛よりお金が大事だという場合があっても
他の全てのケースで愛よりお金が大事になるとは限らない。
全体を見ずに一つの体験から何かを定義するというのはナンセンスだ。

また、結婚をする為に結婚資金を貯めていたのに
そのせいで別れてしまうというのも本末転倒で滑稽だ。

目的はあくまで結婚であって
結婚資金を貯めるというのは手段にすぎないはずなのに
そのせいで別れてしまうとは
まさに手段と目的が入れ替わってしまった状態だと言える。

この手段と目的が入れ替わってしまう状態は矛盾しているようだが
恋愛においてはよく聞く別れの原因の一つでもある。

恋愛の目的がお互いに愛し合い幸せになることだとするなら
デートやイベントなどはただの手段に過ぎない。

だが、その手段にすぎないはずのデートに遅れたとか
クリスマスや誕生日にどうしても会えないというだけで大喧嘩になり
別れの原因になっているケースが非常に多い。

手段はあくまでも手段で目的ではないのだから
もしも一つの手段がダメになってしまっても別の手段を使えばいいだけの話だ。
デートや誕生日などいくらでもやり直しができる。

ご飯を食べに行ってお店が休みだったら別の店に行けばそれで済む。
行こうとしていたところが休みだったからといって
食事をする事自体をやめてしまう人など滅多にいない。
お腹を満たすという目的を達成する為に一つの手段が使えなかったら
それに固執せず別の方法を取るのが普通だ。

さて、フリッパーの反応はというと

「やっぱり金がないとうまくいかないじゃないか！いい加減にしろ！」

「お金がないと愛を続けることも不可能」

「やはり10億は愛より重い」

など、手段と目的が入れ替わっているフリッパーに肯定的な意見が目立つ。

一方で

「男がクズだったってだけで金になる意味がわからないよ」

「愛が足りないから喧嘩になって別れるんだよ。普通なら好きな人の母親を心配するだろう」

「その愛が本物じゃなかっただけ」

と、否定的なレスもある。

お金派の意見も愛派の意見も多く書き込まれるようになってきたが

現在の不景気を反映してなのか

「生活に不安があるからお金を選びたい」

「老後が心配だからやはりお金が大事」

「食事が食べられない程の貧乏を経験してしまうとお金を選んでしまう。低収入だと何かあった時に不安」

など、欲望丸出しの意見とは対照的な堅実な意見も多い。

贅沢をしたいとかお金が大好きというのではなく

普段の生活や将来への不安からお金を選んでいるというのが伝わってくる。

お金派にもお金が大好きで愛なんてお金に比べればどうでもいいという人達と

愛など考える余裕がなく生きるのがやっとなら大金で安心したいという人達と2つのタイプがあるようだ。

さて、愛派の意見を見ていると

「愛こそ全て」

「金と愛どちらかと聞かれて愛の方が大事だと言える人間の方がカッコいい」

「金に汚い人間にだけはなりたくない。金があると破滅する。愛は貧乏でも幸せ」

など、いろいろな意見は出ているもののどれも感情論で理論的な意見がない。

愛というものが感情なので仕方のないことかもしれないが
なんとも言えない気分だ。

もう少しまともな意見はないかと思い

「感情論ばかりでなく理論的な意見はないのか？」

と書き込むとすぐにレスがあった。

「感情論ばかりと言うがもう少し考えてほしい。
まず、なぜお金と比べるものに愛が引き合いに出されるか？
これはお金に匹敵するものが愛くらいしかないからだ。
それに感情論がまるで悪いことのように理論理論というのが
感情というのはとても大事なこと。
人間とは幸せを感じる為に生きているようなものだ。
幸せという感情を感じなくてもよいのなら
自給自足でも低収入でも生きるには生きられる。
でもそれじゃあつまらないからお金を稼いだり
誰かを愛したり愛されたりして幸せになろうとするんだろう。
お金が大事という人も結局はお金がある方が
愛があるよりも幸せだと思うから選んでいるようなもの。
幸せという感情を無視してこの問題は語れない。
そして自分は10億というお金よりも愛する人と暮らす方が幸せだと思うから
愛の方が大事だと思う。」

それだけの話し」

これは貴重な意見だ。

感情論を否定していたが確かに突き詰めれば
お金派もお金を得ることにより幸せになりたいからお金を選んでいると言える。
愛派はお金より愛がある方が幸せというだけの話しだ。

どちらを選ぶかというのは結局個人の好みが大きく
どちらが大事だと理論的に定義するのは難しい気がする。

フリッパーの反応はというと

「これは真理。結局、人による」

「好きな人に10億以上の価値がある人が愛で
10億の価値がない人が金を選ぶということか・・・ゴクリ」

「生活苦から金を選んだ自分は将来への不安から金を選んだってだけで
別に愛が欲しくないわけじゃないんだよ。不景気が悪い」

「また勝ってしまったかw」

など様々だが
気になるのはやはり生活苦からお金を選ぶ人がいること。
今の日本ではお金より愛を選ぶというのは贅沢な選択になるのかもしれない。
なんとなくお金を選ぶ人は心が汚いというイメージがあったが
改めなければならないと感じた。

そして同時にお金と愛はどちらが大事か？
という議論はあまり意味がないように思えてきた。

両方とも幸せになるという結果が目的で
お金も愛もその為の手段だというのはなら
選ぶのはどちらでもよいという結論になるからだ。

そんなことを考えているとフリッパーの中からも

「幸せが目的ならお金も愛もその手段だから
個人の好みによって正解は変わる。
結論としてどちらでもいい」

なんて意見が出てきた。

しばらく経ってもそれを否定するレスが書き込まれないので
まだ書き込み数が1000に達してはいないが別のスレッドを探すことにした。

電腦ちゃんねるを見始めてから結構な時間が経ったので
次に見るスレッドで最後にしようと思って閲覧するスレッドを探す。

すると

「殺人は必要か？」

というスレッドを見つけた。

どんな展開になっているのかと期待しながらクリックする。

焦点は死刑は必要か否か？ということに終始しているようで
死刑賛成派と反対派がお互いに意見をぶつけていた。

死刑賛成派の言い分としては

「死刑があることにより犯罪の抑止になる」

「死刑になるようなことをする奴は殺されて当然。生かしておく税金が勿体無い」

「遺族の気持ちを考えると死刑が妥当」

など、もっともな意見が出ている。

対して反対派は

「罪を償わせるには死刑にするより長い時間をかけて反省させた方がいい」

「冤罪の場合取り返しがつかない」

という意見が大半だ。

自分の意見としては死刑に賛成だ。

死刑にされるようなことをした人間が殺されるのは当然の報いだし
もし自分の親しい人が殺されたりしたら長い時間をかけて反省させた方がいい
なんてことは思わず殺してほしいと思うだろう。

冤罪の場合取り返しがつかないと言うがそれは終身刑や他の刑でも同じだ。
冤罪の時に奪われた時間というのは返ってこない。
冤罪問題と死刑問題というのは分けて考えるべきだと思っている。

死刑制度がなくなってしまうえば犯人が自供して全てを認めていたり
カメラの映像などが残っていて明らかに犯人が確認できる場合
そして現行犯など明らかに冤罪ではないケースでまで死刑にできなくなってしまう。

国民へのアンケートで死刑制度が支持されていることから
死刑はあった方がいいのは明白だ。

反対派は

「理由はどうあれ人を殺すようなことが許されていていいはずがない」

と言うが
大抵の場合死刑というのは
そんな許されるはずがない殺人を行っている人間にしか適用されないので妥当な処置であると考えられる。

死刑反対派は冤罪のケース以外にも

「犯人が更生する余地を奪う」

などという意見も出しているが、フリッパーが

「何で税金で犯人養って更生なんてさせなきゃいけねーんだ！金の無駄だからさっさと殺せばいい」

「更生したとかしないとか誰が判断するんだ？
人を殺すような異常者を社会にもう一度出してまた誰かが殺されたらその人になんて言うの？」

「被害者の一生を奪っておいて反省して更生したから普通に生きる
なんてことが許されていていいはずがない。死には死で償うべき」

「遺族はほとんどの場合犯人が死刑になることを望んでいるから更生などさせる必要はない」

と、フリーでは珍しくまともで的確なレスだけを書き込み反対派を黙らせている。

死刑制度の是非に関しては賛成派が圧倒的多数なことで論理的にも納得できるものを提示していることから完全に決着したと言っている。

しかしすぐに別の議論を提起する書き込みがされる。

「そもそもなぜ殺人をしてはいけないのか？」

フリッパーの反応を見ると

「大抵の人が殺されたくないと思っているから」

「社会を形成するのが難しくなるから」

「その方がいろいろ便利」

「法律で決まっているから」

などの意見が出ている。

法律で決まっているからというのはあくまで結果論で何かしらの理由があるから法律で決まったと見て間違いない。

フリッパーの書き込みを自分で更に深く考えてみる。

まず大抵の人が殺されたくないと思っているからというのは当然の理由だ。殺人をしてもいいということになると自分が殺される可能性も出てくる。それをされない為には殺人が禁止でなければならない。

そして社会を形成するのが難しくなるからというのもまた当然の理由だ。もし殺人が許されていれば身を守ることに多くの時間やエネルギーを消費することになり文明を進歩させることができなくなる。そうなれば今のような進歩した社会を形成することはできなかつたろうし維持も困難だろう。

また殺人者が多くなれば最終的には戦争状態になり

人類は絶滅してしまうかもしれない。

そのようなことにならない為にも禁止されていた方がいい。

考え終わってからスレッドをリロードしてみると同じようなレスがされているがそれに対し疑問を投げかけるレスが書き込まれた。

「殺されたくないから殺人は禁止の方がいいとは言っても
死刑で殺すのはありだと考える人多いよね
これはつまりルールを破った人間を殺すのは別ってこと
で、社会の形成が難しくなるからってというのは
殺人者が野放しになってたら安全ではなくなるし社会が不安定になるからだよね
でもさ、もし大事な人を殺された人が復讐で殺人者を殺したとしても罰せられるじゃん
死刑になるような殺されて当然の人間を殺すんだし
無差別ではなく正当な理由があって殺すんだから
社会の形成に影響を及ぼすってこともないよね
もし法律で禁止じゃなかったら復讐で人を殺すのってありだと思う？」

復讐については考えたことがなかった。

確かに今の法律では復讐で人を殺したとしても罰せられる。

先の議論で社会を形成するのに悪影響があるという理由が挙がったが
復讐の場合は正当な理由があり
その人物が社会に悪影響を与えるとは考えづらい。
見方によっては危険人物を排除する善人と言うこともできる。

そして多くの人が殺されたくないと思っているという理由も
ルールを破った殺人者には適用されるべきでないというのが
死刑に関しての議論で出ている。

また、法律というのは人間が作った以上完全ではない。
復讐殺人に関しては法律が間違っているのではないか？
と、問われているように思える。

フリッパーの反応を見てみると

「法律は完全ではないから復讐まで禁止にするのは間違い」

「殺人が禁止と言っても死刑、正当防衛、戦争の場合は法律ですらよしとされている。
全ての殺人が悪いわけではない。
復讐に関しては法律が追いついていないだけ」

「遺族が犯人を殺したいと言う場合には殺させてあげるべき」

など肯定する意見がでる一方で

「復讐は連鎖する。
殺人者にも肉親や親しい人がいるので殺し返され、それが続くということが起きる。
そうならない為にも復讐は禁止にするべき」

「正当な理由があるにせよ殺人者が罰せられずそのまま社会にいるのは怖い」

という意見もある。

確かに復讐をしたら犯人側の誰かから更なる復讐をされ事態が泥沼化する可能性はある。

が、それは結果論であり
殺された側からすれば最初に殺す方が悪いのであって
仇をとることがなぜ悪いのか？
と考えてもそれは自然な感情だといえる。
ただの殺人者と同じに扱うことは不自然だ。

殺人者が罰せられず社会にいるのが怖いという理由も
無差別に人殺しをするような人物でないことが明白なので
あまり有効な意見とは言えない。

外国であれば戦争帰りで普通に暮らしている人もいるし
一般市民が身を守る為に人を殺した経験があるというのも珍しくはない。

復讐で人を殺すことは心情的には許される行為であると定義しても間違いはないだろう。

ただし、法的には罰せられるご法度であることもまた間違いない。

フリッパーの中には復讐を肯定する流れにまだ納得していない人もいるようだが
そんな中でガラリと話題を変える書き込みがされる。

「復讐の話題は飽きたから別のこと話そう！！自殺はありかなしか？」

飽きたというのはなんともフリッパーらしい理由だが
自分の中では復讐に関しての結論が決着したので
あまり気は進まないが自殺に関して考えてみることにする。

気が進まないのは自分が本気で自殺しようとしたことがあるからだ。

もちろん本気で自殺しようとしたと言っても
今こうして生きているので未遂に終わってはいるのだが
過去の嫌な思い出というのはあまり思い出したいものではない。

自殺をしようとした理由としては
仕事が続かないというのが一番の原因だった。

高校卒業後にアルバイトをしながら実家に寄生していたが
親から就職して出て行くように言われ就職活動を始めた。

しかし、いくつもの面接を経てやっと就職できた会社でSADを発症しわずか1週間で退社。

SADとは社会不安障害と言われた精神疾患で
現在は社交不安障害と言われている。

会社で人と関わる際や電話での応対などで強い緊張状態に陥り
頭が真っ白になったり、動悸が酷くなったり、震えたり、声が出なくなったりするなどの症状が
出るのでとても働ける状態ではなくなった。

その為、自分の中では

働けないからお金が稼げない

お金が稼げないから生きていけない

という考えがループしてそこから抜け出せなくなり

自殺するしかないという結論になった。

しかし、カミソリを使い腕や手首を切ることで自分の身体を傷つけることに慣れてからいざ本命の首の血管を切ろうと決意し力を入れようとするもあまり力が入らない。

皮は切れるのだが首の皮にゴムのような弾力があり
かなりの力を入れなければ血管までは切れないとわかる。

それでも何度も何度も切ろうとする度に

力を入れようとする度に

恐怖と死にたくないという本能が湧き上がってきて

1ミリ先にあるであろう血管までは届かない。

本気で死のうと決意しているにもかかわらず

たった1ミリ先の血管を切る勇気や力がでない。

出るのは皮を切ったところから出るほんの少しの血と

長い間出していなかった涙だけだった。

そして、気が付くと朝を迎えていて

血だらけの身体で親に見つかりその後、会社には行っていない。

また、そこからの記憶があまりない。

自分が本気で死のうとしたにもかかわらず死にきれなかったことで
死ぬのを諦めて生きるしかないと思えたのは良かったかもしれない。

また、死にたいと思っていたはずなのに死ぬ時になって死ぬのが怖いと恐怖したことで気付いたことがある。

人間というのは本能レベルで生きたいとか死にたくないと思っているということだ。

しかし、状況によっては自分のように本気で死にたいと思うことがあるし
人によっては実際に死んでしまう。

それはなぜなのか？

つらいとか苦しいという気持ちが重くなってくると

人間はそれらから逃げる為に

「生きていたくない」

と感じてしまう。

それを「死にたい」という気持ちと誤認してしまうことが原因だと考えられる。

「死にたい」と「生きていたくない」は似ているようで全く違う。

おそらく死にたいと思いながらなかなか死ぬことのできない人間のほとんどは
「生きていたくない」を「死にたい」と誤認しているはずだ。

生きるのをやめるということが必然的に死になる為、そう考えてしまうと思われる。

しかし選択肢がAとBの二つしかない二択で
Aを選びたくないと思うことがBを選びたくて選ぶということにはならない。

生きていたくないと考えてしまうことの解決策は死ぬことではなく苦しみを取り除くことだ。

苦しみも辛さも悲しみもない状態で生きていたくないとか死にたいと思う人間はおそらくいない
。

さて、フリッパーの反応を見てみると

「死にたい奴は死ねばいい」

「法律で禁止していないからOK」

「誰にも迷惑を掛けないからしてもいい。本人の自由」

なんて肯定する意見がある一方で

「命を粗末にするのはよくない」

「周りの人間を悲しませるからよくない」

「税金を納める人間が減るなど社会的損失が大きいからやめるべき」

など反対する意見も出ている。

自分としては生きていたくないという状態になっているだけで
本当に死にたい人間なんていないという考えがあるので自殺はなし派だ。

また、フリッパーの意見にある社会的損失が大きいというのも無視できない。

自殺者は毎年3万人と言われているが
これは自殺だと認定される為には検死が必要で
その検死の限界数が1年で3万人の為
何年も3万人という発表がされているだけだと見たことがある。

本当はもっと多いらしい。

これが本当だとすると放ってはおけない。

若者の自殺者が増えれば税収などにも影響するし
社会が成り立たなくなる可能性も出てくる。

とはいえ本当に死のうとしている人を見つけて説得するなんてことはほとんどのケースで不可能だし
絶望している人には何を言っても無駄ということも多いにありえる。

まさか税収が減るから死ぬのはやめろなんて説得するわけにもいかない。

とりあえずさっきまで考えていた「死にたい」と「生きていたくない」を誤認している可能性の話を書き込みフリッパーの反応を待つ。

「なげーよ」

とすぐに書き込まれる。

が、その後すぐに

「これはあるかもしれない」

「死にたいと思いながら死ねない原因はこれか」

「確かに辛過ぎて生きているのが嫌になることはあるけど
その辛いことがなくなれば生きていたい人がほとんどだな。死ぬのは怖いし」

など、真っ当なレスもある。

更に

「いじめられて死にたいと思ってたけど本当は死にたくないって気持ちもある。
やっぱり死ぬのは怖いし。
自分は死にたいんじゃないでいいじめられるのが嫌なだけなんだと思うことにする。
死ぬ方法を考えるんじゃないでいいじめられない方法とかいじめから逃げる方法を考えるよ」

なんて書き込みもある。

何気ない自分の書き込みがこの人を救うことになったのだろうか？

と、少し嬉しくも思う。

しかし、そう思うのも束の間。

否定的なレスも書き込まれる。

「死にたいと生きていたくないを誤認しているというけど
それがわかったところで結局生きていたくない理由をどうにかできなければどうにもならない。
実際に死んでいる人もいるんだし何を言っても死ぬ人は減らないと思う。
死ぬような人は問題解決の為にできることは全部やって死ぬほど頑張ってるだろうし。」

何か勘違いで人が死んでるみたいな言い方で死んだ人を馬鹿にしてると思う」

馬鹿にするつもりなど全くないのだがこう言われてしまうと何だかやるせない。

が、確かに生きていたくないだけとわかったとしても
その理由をどうにかできなければ何の解決にもならない。

言われた通りだ。

結局、自分の考えていたことは何の役にも立たなかったのかと少し落ち込む。

しかし、落ち込んでいる間にもスレッドには書き込みがされていく。

見ていると

「死のうとする人間は精神的に追い詰められて視野や思考が狭くなってしまっている人が多い。
原因を取り除けばそれで死ななくても済むという考えはいいと思う。
要は苦しんでいる原因さえなくせばいいんだから
逃げたり別の方法を取ったりすればいい。
生きることから死へ逃げるのではなく苦しみから逃げればいいだけ」

なんて書き込みもある。

これは確かに納得させられる意見だ。

自分も視野や思考が狭くなっていて
一つの会社でダメだっただけで人生終了だと決め付けていた。

もしかしたらこの会社が合わないだけかもしれないとか
他の会社に行こうとか考えもできず
仕事ができないからお金が稼げない。
だから死ぬしかないと思い込んでいた。
仕事は何もその会社でしかできないものではないのに・・・

改めて自分の考えを書き込むことにする。

「自分が言いたいのは本当はみんな生きたいんじゃないかってこと。

生きるのが嫌になるくらい苦しいことがあるなら
自殺する前にその苦しいことから逃げればいい。
仕事が死にたくなる程苦しかったらその仕事を辞めて別の仕事を探そう。
探せないくらい疲れていたら探せるようになるまで休もう。
死にたくなるような事からは逃げればいい。
学校でいじめられて死にたくなる程苦しかったら学校なんて休もう。
やめてもいい。
それで死ななくて済むならその方がマシだ。
生きていればいつか幸せになれるかもしれない。
でも死んでしまえばその可能性はない。
だから逃げてもいいから生きていよう」

フリッパーの反応は

「これはその通り。死ぬくらいなら逃げた方がマシ」

「実は死のうと思ってたけど今の会社辞めて別の仕事探す」

「逃げるとその後がもっと苦しくなる場合もあるからなあ」

「今の年齢から転職はきついんだよ・・・」

など様々だが

やはり逃げるといえるのは問題の回避であり解決ではないので躊躇する人もいるようだ。

さすがに問題の解決方法にこれだという方法があるわけではない。

偉そうなことを言っておいて肝心なところで役に立たないとは
なんとも情けないかぎりだ。

そんなことを考えていると新たな疑問を投げかける書き込みがされる。

「生きる生きるって何だか必死になって生きようとしてるけど人間って何で生きてるの？生きる意味って何？」

これはまた哲学的な問いかけだ。

この手の質問や疑問は思春期などによく考えたり話したりすることだが案外大人になっても納得する答えを得られていないものだ。

大抵の場合それっぽい名言や他の動物と同じように種を残す為などと結論付けられる。

フリッパーの反応を見ても

「わかるわけねーだろハゲ」

「死ぬまでの暇つぶしだってネットで見た」

「子孫を残す為だろ」

「生きるのは本能だから」

「生きる意味はわからないけどわざわざ死ぬ意味もないから」

など、どこかしらで見たことのある意見ばかりだ。

自分の意見としては逆説的だが先の自殺に関しての議論から考える。

人間とは苦しい、悲しい、つらいなど負の感情が大きくなった時に死を選ぶ。

が、嬉しい、楽しい、喜びなど正の感情が大きくなった時はどうか？
と考えるとそんな時に死にたいと思う人間はいない。

つまり人間とは楽しんだり喜んだりして幸せを感じる為に生きていると考えられる。

お金を稼ぐのも幸せの為だし、恋人を作るのも結婚するのも幸せになる為。

映画を見て楽しんだりおいしいものを食べて喜びを感じるのも

全て幸せを感じる為にしていると言っても間違いではない。

感情論だと言われるかもしれないが感情というのは決して無視できるものではない。

死刑に関しての議論を振り返ってみれば死刑というのは秩序の維持だけでなく感情を納得させる為にもあるということがわかる。

そればかりか今日見たスレッドの全てがどちらを選べばより幸せになれるか？という前提の元で選ばれていたと言ってもいいかもしれない。

例えば最初に見たスレッドの

「自分と相手のどちらかが死ななければ二人とも死んでしまう」

という問題でも

自分が死ぬ方を選ぶ人は

それを選んだ方が自分にとって得だという価値観からそれを選んでいる。

逆もまた然り。

つまり客観的に見てどうか肉体的にどうではなく
自分がより得をして幸せになる方を選んでいると言える。

「顔と性格どちらが大事か？」

という問題も

顔を選んだ人は顔で選んだ方が自分が幸せになれるから顔で選ぶのであり
性格で選ぶ方も同じだ。

「お金と愛はどちらが大事か？」

という問題も

お金を選ぶ人はお金があった方が愛があるよりも幸せだと感じる価値観だからお金を選ぶのであり

愛を選ぶ側もまた同じだ。

全ての選択や行動は幸せを感じる為に選ばれている。

人により意見が割れてしまうのは個人の持つ価値観の相違に他ならない。

価値観というのは人により違うので人により幸せを感じる選択が異なる。

その為、議論をした時に意見が分かれ
結論が出ないまま議論が終了してしまうことがある。

また、どちらかに意見が偏れば少数派の意見は無視され
多数派の意見が常識や普通といった認識になる。

死刑賛成反対論などはその典型で
反対派が少数の為、死刑はある方がいいと結論付けられている。

しかし反対派の中での価値観は賛成派とは異なる為
反対派の中での正解はいつまで経っても廃止が正しいという認識のままだ。

価値観というのは人が何かを選ぶ時に無視できない重要な要素で普段の生活にも密接に関係している。

例えば日常生活の中でも空いた時間を過ごす方法なんかは
自分が最も価値があると思うことに使っているのではないだろうか？

趣味や人付き合いなんかも価値観を基準にして選ばれている
と言っても過言ではない。

もちろん自分のできる範囲でという制限があるので
完全な希望というわけではないが・・・

これらの考えを踏まえて人間はなぜ生きるのか？生きる意味は？
という問いに答えると

人間は自分の価値観の中で幸せを感じる為に生きる。

と、結論付けられる。

もちろんこの結論でさえ自分の中の価値観でしかないが
どうせ生きるなら幸せになりたいというのはごく自然な感覚のような気がする。

さて、フリッパーはというとスレッドをしばらく見ないうちに
なぜ生きるか？について議論を進めていたようで

「死にたくないから生きる」

という結論になったようだ。

ある意味それも正しいと感じる。
死なないことが幸せであるなら生きていた方がいい。

フリッパーのシンプルな結論を見て
自分も生きる為に必要なことをしようと思えた。

とりあえず仕事探しからだ。
そう思いスレッドを閉じた後、求人サイトを開く。
働かなければ・・・

数ヶ月ぶりにそんな思いで頭がいっぱいになった。
生きる為に今、確かな一歩を踏み出そうとしていた。